

インパクトエコノミーの時代

～社会的インパクト投資と寄付の最新動向～

Global Steering Group for Impact Investment (GSG) 理事

GSG日本国内諮問委員会副委員長

鵜尾雅隆

プロフィール



認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 代表理事
(株) ファンドレックス 代表取締役

Board Member, Global Steering Group for Impact Investment
GSG日本諮問委員会副委員長
JICAイノベーションアドバイザー
大学院大学至善館特任教授
非営利組織評価センター理事
新公益連盟設立幹事
NPO法人フローレンス理事、NPO法人クロスフィールズ理事
Renet Global Investment Fund アドバイザー
Board Member, Asia Pacific Alliance for Disaster Management



JICA、外務省等を経て2008年「社会イノベーションを生み出す」ことに特化したコンサルティング企業を創業、2009年に寄付と社会的インパクト投資の推進を図る目的で日本ファンドレイジング協会を創設。GSG日本国内諮問委員会発足時より副委員長、2018年よりGSG国際組織理事。

著書に「ファンドレイジングは社会を変える」（単著 三一書房）
「寄付をしてみよう、と思ったら読む本」（共著 渋澤健・鵜尾雅隆 日経新聞社）
「社会的インパクトとは何か（原題 Measuring and Improving Social Impact）」
（監訳 英治出版）
「社会投資市場形成に向けたロードマップ」（共著）
「Global Fundraising」（共著 Wilev）

Global Steering Group for Impact Investment



Sir Ronald Cohen



National Advisory
Boards

Partner
Organizations



本日は話し申し上げたいこと

- 1 インパクトエコノミーの価値と可能性
- 2 COVID-19で今GSGが何を考えているか
- 3 世界的な動きSDG Impact とImpact Weighted Account Initiativeの動きと日本の金融セクターの連動性が2020年のテーマ。
- 4 シンボリックな成功モデルを日本で生み出す必要性。
～日本の強みは何か～
- 5 民間投資だが、官民連携で共創的ロードマップ・推進体制を構築する重要性。

1. インパクトエコノミーの時代

市場原理に
基づく行動

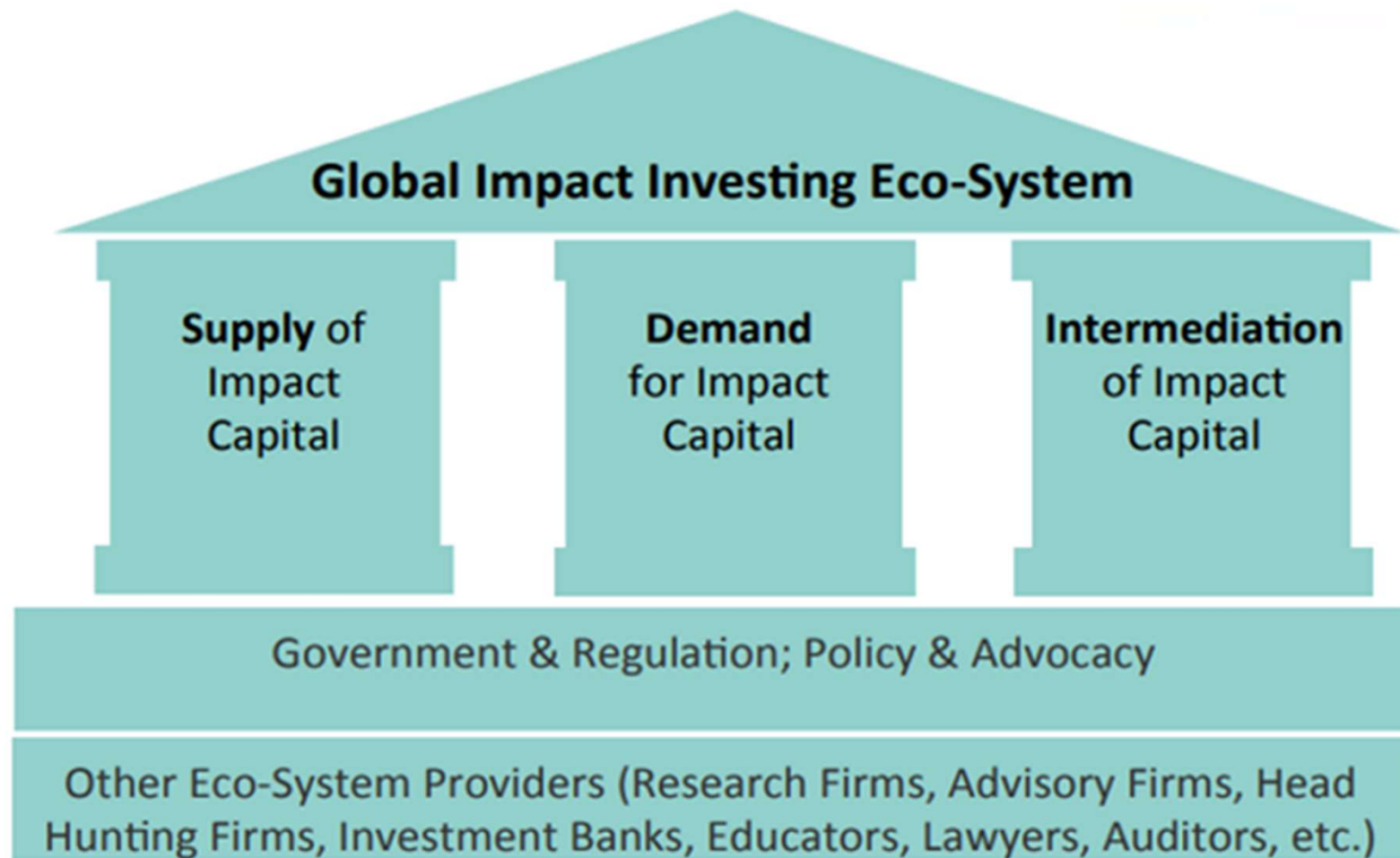
Risk
Return
Impact

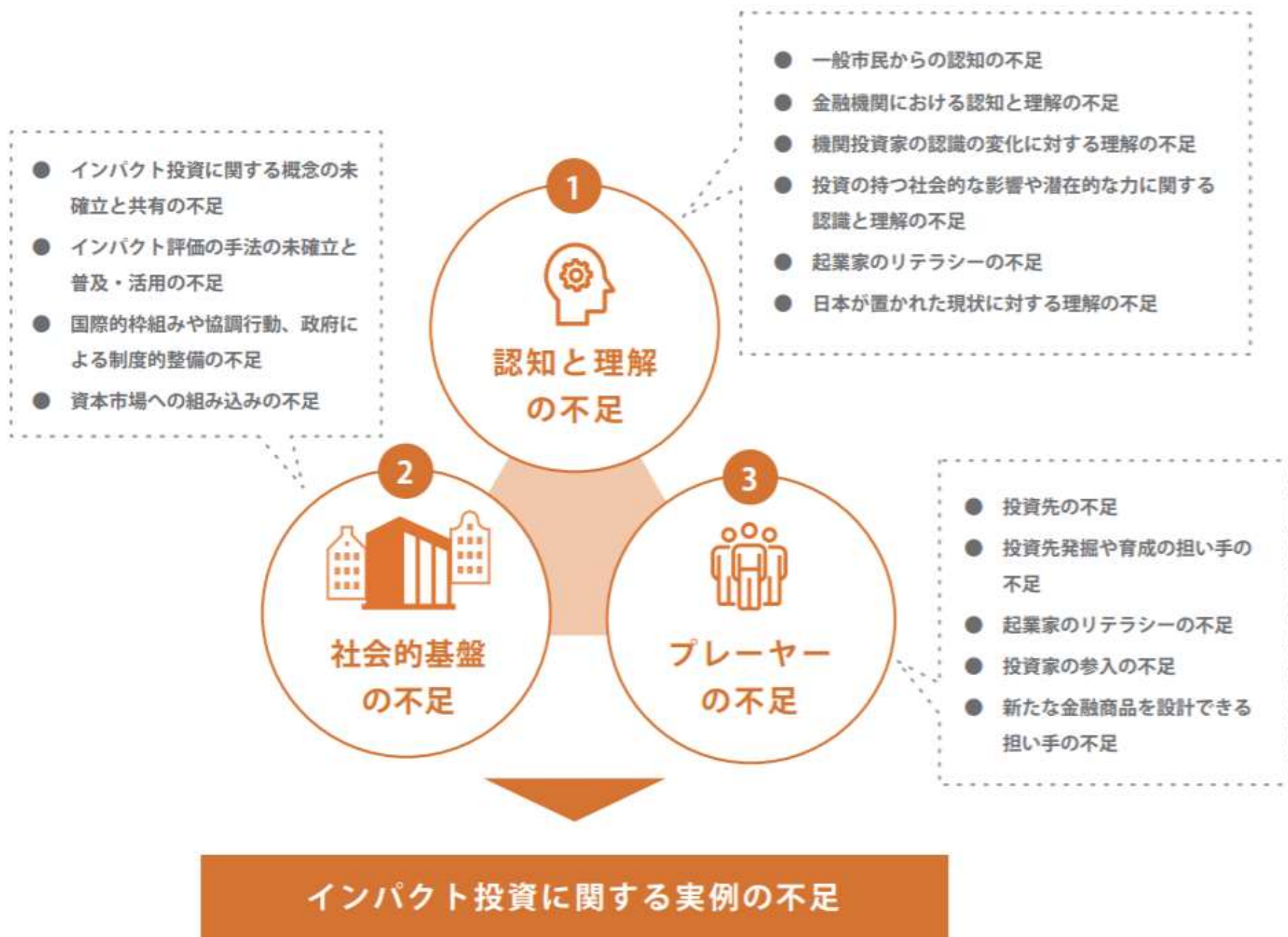
税収による
政府の課題解決

IMPACT INVESTMENT: THE INVISIBLE HEART OF MARKETS

Harnessing the power of entrepreneurship,
innovation and capital for public good

GSGのエコシステム形成へのチャレンジ





2. GSGのCOVID-19下における重要アクション（検討中）

主要アクション	影響	必要な努力	備考
Compelling narratives	中	低	金融、行政セクターへの働きかけ
Boost outcome funds	高	中	Health, Education, Skill分野での立ち上げ
Impact in the bailouts	中	中	政府支援のインパクト志向の強化
Social bond development	中	中	SIB等の拡大
Support for emerging economies	高	中	社会的企業等への資金フローの拡大
Shifting money across the spectrum to impact	高	中	各国のNational Advisory Boardと連携
Pensions for Purpose	高	高	年金のインパクト投資枠の拡大
Reporting and accounting on impact	高	中	Impact Weighted Account Initiative等の推進

3. 2020年からの重要な動き

“Impact Recovery”

社会課題解決に向けた投資がいかに経済社会の復興を早め
よりよい社会を生み出せるか。

SDG Impact

- ✓ Practice Assurance Standard of SDG Impact
- ✓ Independent Assurance and Seal
- ✓ Impact Management Education



Impact Weighted Account Initiatives (IWAI)

GSG, IMP, Harvard etc

SDG教育の高校での展開開始

4. 日本の現状と可能性

- G20大阪での首脳宣言と総理発言(2019)
- ソーシャルインパクトボンドが小規模だが試行が進む
(閣議決定も後押し)
- SDG日本モデル宣言(93自治体署名・2019)において
「社会的投資の推進」が3本柱のひとつに位置付け
- SDG教育が2020年から高校で開始
- 休眠預金の潜在的活用可能性
(2020年度に投資分野の制度設計研究予定)



「地球規模課題の解決に必要な資金確保のため、
社会的インパクト投資や、休眠預金を含む多様で
革新的な資金調達の在り方を検討し、
国際的議論の先頭に立つ考えです」

（安倍総理スピーチ：G20首脳会合（大阪））

（SDGs達成のための）国際的な公的及び民間資金、並びに、
ブレンディッド・ファイナンスを含むその他の革新的資金調
達メカニズムが、我々の共同の取組を高めていく上で重要
な役割を担うことができることを認識する。

（G20首脳宣言文書）

SDG日本モデル宣言の中でも社会的投資が位置付け

93の自治体首長が署名した「SDGs日本モデル」宣言の3本柱のアクションのひとつが社会的投資の拡大（2019年1月発表）



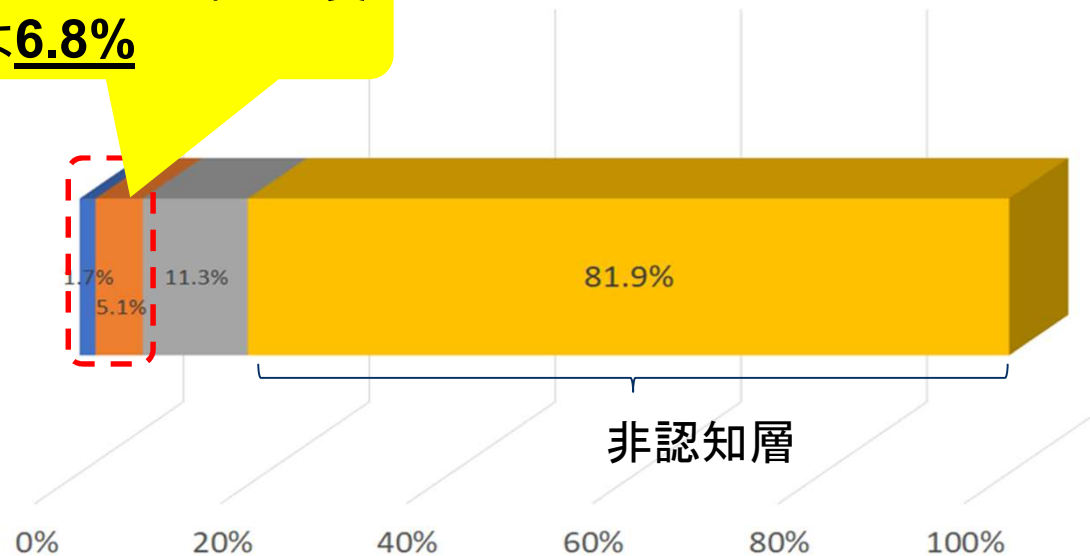
「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組めます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

意味を多少でも知っている「インパクト投資」の認知度は6.8%

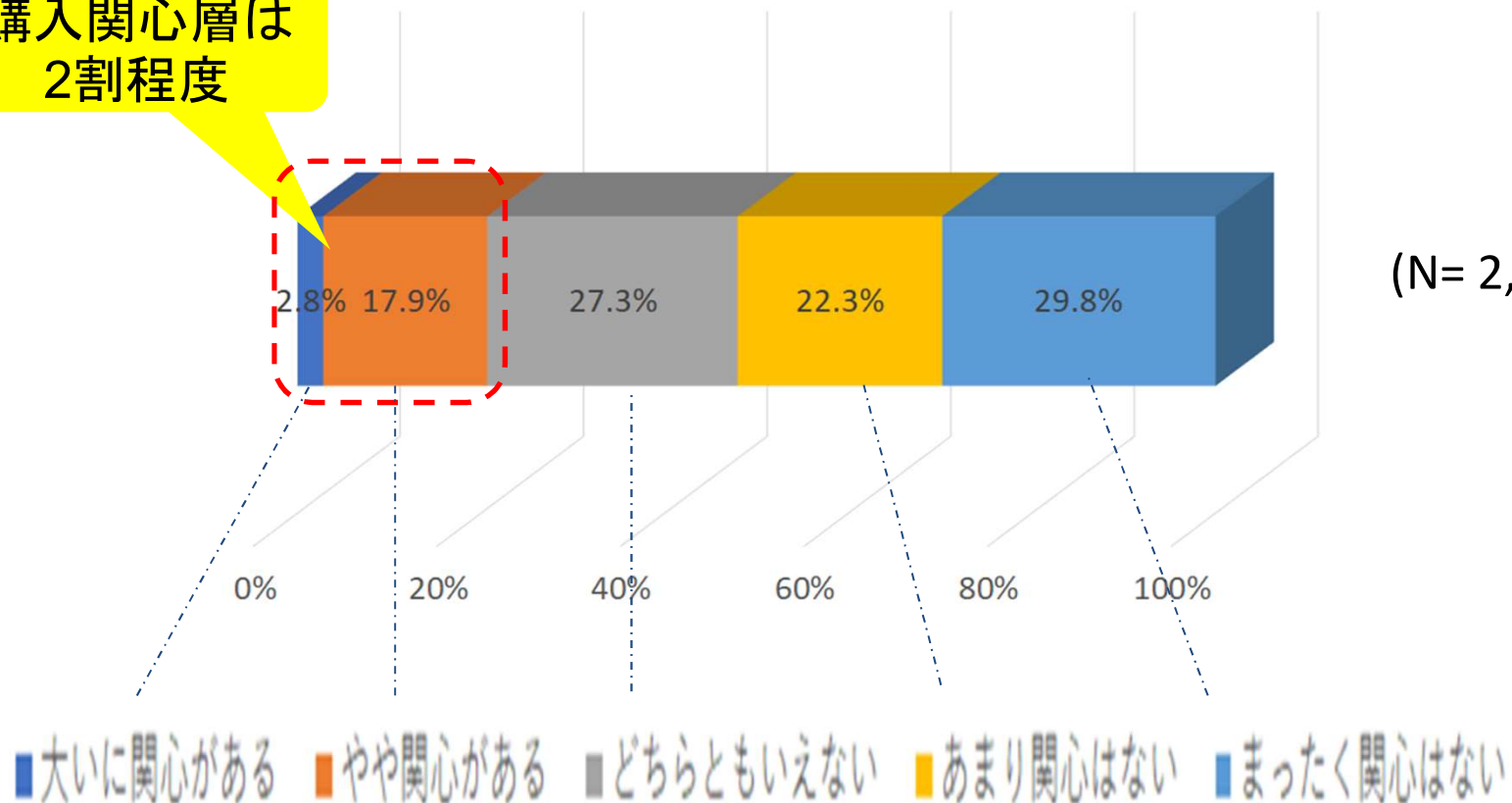
意味を多少でも知る認知度は6.8%



- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことがあり、意味もよく知っている
- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことがあり、意味も少し知っている
- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことはあるが、意味までは知らない
- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことがない

「インパクト投資」商品の購入関心度は2割

購入関心層は
2割程度



5. 「日本型インパクトエコノミー」の形成にむけて

- 官民連携で大きな方向性やアクションの認識を共有化し、ロードマップをそれぞれが実現していくような「共創的プラットフォーム（協議体）」が必要
- 日本発の象徴的社会イノベーションを投資で生み出し世界に貢献する。
（保険医療、福祉、不動産、エネルギー、起業）
- 社会的投資先と投資家とのマッチング（市場）機能の必要性